

小澤武一 本名 武蔵 俳人。明治二十九年一月、二十五日東京生れ、昭和四十一年二月、二十九日歿（二八空、一九六六）。號山麓火、河津葵、泊光等。大正二年東京府立第一中學校卒。在學中萩原井泉水を知り、卒業後層雲社に入る。のち編輯・経営に當る。同盟通信社、共同通信社勤務。

著書 『自渌（草上句集・第一）』、『合著・萩原井泉水編 大正五年七月五日（現代通報社）』、野村朱鱗洞遺稿句集『體讀』（編、萩原井泉水選、大正八年五月十日（現代通報社））、『俳入叢書』（編、一『芭蕉俳句集』大正十五年四月二十五日、一『異角俳句集』六月十五日、二『蕪村俳句集』八月、三『春陽堂』、第二句集『繪の消えか繪馬』（昭和二年十月、三『大衆社』）、句集『花と繪馬と氣球』（昭和七年二月一日（大衆社））、同『春の遙くは道』（昭和十二年七月十日層雲社出版部）、『東京裁判寫真記録』（編、昭和二十二年七月、三『白澤生社』）、『チャタレイ夫人の戀人に関する公判ノート』（編、I・昭和二十六年七月十五日、II・二十七日、III・九月二十日（河出書房）等。

